

落合 康友

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

子育て支援(仕事との両立支援)

過去に市が実施した、子ども・子育て支援に関する二一五調査では両立支援の充実を望む声が多い。育児・介護休業法による育児休業制度、短時間勤務制度などの市民の利用状況は。

県が毎年県内の民間事業所に実施している労働条件等実態調査によると、育児休業の取得率については、女性は95・0%、男性は8・8%となっている。また、子の看護休暇制度に関する規定を設けている事業所の割合は73・2%、規定の有無にかかわらず子の看護休暇制度を実施したことがある事業所の割合は22・8%となっている。

子育て支援(屋内遊び場や児童館)

同二一五調査では子供の遊び場の設置、拡充の要望も多く、特に屋内の遊び場や児童館など、雨や雪の日でも利用できる施設の整備は長年の課題だが実現に向かっていない。今後の考えは。

要望を踏まえ、子供の屋内遊び場に関する庁内検討会議を設置し検討を重ねてきたが、新たな単独施設を建設するには、財政的な負担が大きいため、既存施設の改修の際や学校跡地等の利活用の中で、遊び場のスペース等の確保について検討を進めたいと考えている。

その他の質問事項

- 出産育児一時金超過の上乗せ助成
- 人と自然が共生できるエネルギーのまち

安岡 明雄

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

新型コロナ時代の機動的柔軟な組織体制

コロナ禍では、どうしても担当に大きな負荷がかかる。ワクチン接種等を進めるに当たって、市役所全体の役割や指揮系統を明確にするなど、安全かつ迅速に対応できる全庁体制を、どう進めるか。

大量の事務を短期間で行う必要がある場合は、他部署からの応援により事務作業を行っている。今後、新型コロナウィルス感染症のワクチン接種業務についても、全庁体制で業務を行うこととなるため、他部署の応援が必要となるが、特定の職員に負担がかからないよう、健康管理を行いながら適切に対応していきたい。

松林や名木・古木を大切に取る取組

能代市の古木・名木には、おのこの歴史やストーリーがあり、選定基準を明確にすることで、ふるさと教育につながる。選定された貴重な樹木の保全活動への助成制度を選定者として創設する考えは。

古木・名木は故事・由来のあるものを中心に調査記録したもので、選定基準はないが、郷土の歴史や文化と深く関わり、市民に親しまれ、守られてきた樹木である。所有者への助成制度については、樹木診断、治療、維持管理費用等の補助を行っている自治体もあることから、能代市緑の基本計画との整合性を図りながら検討していく。

その他の質問事項

- 機動的な人員配置をどう実現するか
- 事業承継の観点で移住対策を考えては
- 解体・更地化が進む中心市街地

大高 翔

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

マイナンバー等の情報資産の廃棄対応は

神奈川県で発生したハードディスク関連の情報漏えい事件。漏えい防止のため、適切なデータ消去・除去及び物理的破壊を行う。場合によっては機密性に応じたマニュアルも必要。当市の廃棄対応は。

本市では、マイナンバー等に関する情報資産は、電子媒体を用いて運用、管理している。この電子媒体の運用期間は5年程度となっており、経過したものについては、庁舎内で担当職員の立会いの下、物理的な破壊を行うこととしている。

能代文化学院閉校後の養成研修への対応

能代文化学院は、介護職の養成のみならず、研修も担っている。3月の閉校後、その受入れ先がどこになるのか。特に研修に関しては早急な対応が必要と思うが、現況は。

介護職の研修等は、能代文化学院以外にも職業訓練としてハローワークや大手民間企業で実施している。そのほか最近では、インターネットを利用した学習形態であるeラーニングやオンラインで研修することが国からも推奨されている。これらのことから、同校閉校後においても、介護職の養成、研修については、影響は少ないものと考えている。

その他の質問事項

- セキュリティインシデント即応体制
- 市施設全般におけるテレワーク環境の整備
- 特別養護老人ホームさらさ能代